

江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 結果報告書

江戸川台駅東口周辺地区の賑わいと魅力を創出するために江戸川台東口商店街の道路を活用するプロジェクトが実施されました。

1) プロジェクトの概要

江戸川台東口商店街の通りを歩行者専用道路とし、飲食のためのテーブル・イスを設置するなど、日常的に交流や滞在が生まれる空間づくり「江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2」が、地元商店街・市民の有志・市のサポートにより11月14日(月)から27日(日)まで2週間実施されました。



2) 期間中の取組

テーブル・イスの活用や食べ歩きを通して、日常的に人が楽しく集い、賑わう場所になるよう様々な取組を行いました。プロジェクト期間中の江戸川台東口商店街での過ごし方をいくつかご紹介します。

食べ歩きや居心地のよい滞在空間の創出



食べ歩き



チョークアート



アーケード看板統一



江ーポンひそひそポスター

道路にファニチャーを設置し、ゆっくり過ごせるまちのリビングルームの創出



芝で遊ぶ



卓球台で遊ぶ



ちよこっとシアター



仕事をする



作品に座る



はじめてのおつかい

買いものできた



理科大生ワークショップ



江戸川台書店

紙芝居

私の〇冊

プロジェクト期間中たくさんの方に来訪いただきました。来訪いただいた方々ありがとうございました。

江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 に関する調査報告書

●江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 に関する調査

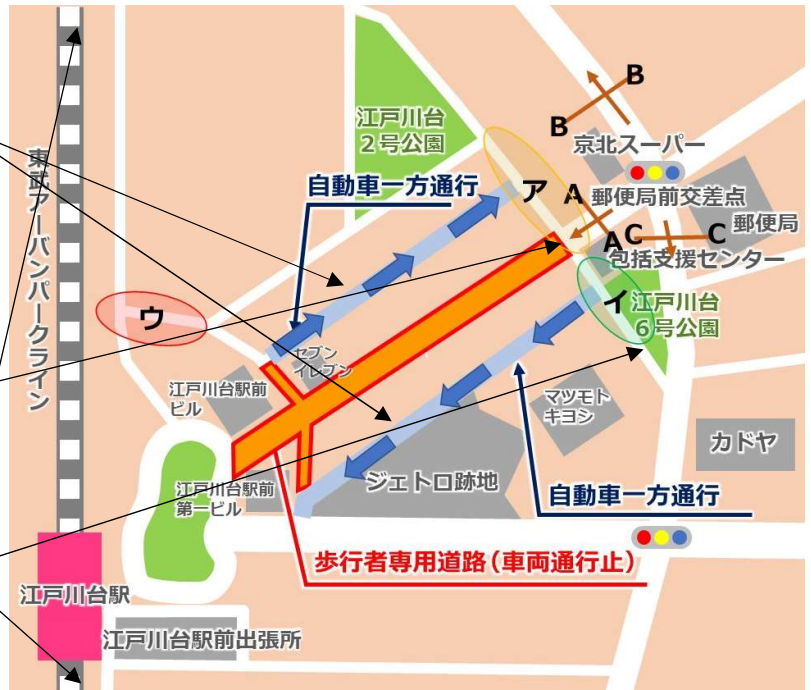
江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 の評価のための調査として、交通量調査・アンケート調査・居心地調査を実施しました。

1) 交通量調査

プロジェクト実施前と実施中の自動車・歩行者等の通行状況を調査・比較し、周辺道路の状況及び影響を検証しました。また、前回（令和4年5月実施）の課題を踏まえ、前回から実施方法を変更しているところについても検証を行いました。

〈プロジェクト SEASON 2 での取組（前回からの変更点）〉

- 商店街と平行する裏通りを一方通行
⇒搬入・搬出車両等の安全性・円滑性確保
- 歩行者専用道路区間の変更
⇒北側地域から柏方面・おおたかの森方面へのアクセス性確保
- 臨時駐輪場の常設
⇒自転車での商店街来訪者への対応



1. 郵便局前交差点の自動車流出交通状況

商店街通りを車両通行止にしたことで周辺道路に影響がなかったか検証をしました。

A 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	400 台	72 台	-328 台
ピーク時間 (18 時台)	52 台	4 台	-48 台

B 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	1,930 台	1,771 台	-159 台
ピーク時間 (13 時台)	179 台	152 台	-27 台

C 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	2,739 台	2,771 台	+32 台
ピーク時間 (18 時台)	271 台	223 台	-48 台

- ・郵便局前交差点の通行量は12時間で減少または同等であり、ピーク時ではどの断面も交通量が減少している。B断面、C断面における流出車も混雑することなく、自動車交通へのトラブルは生じませんでした。
- ・商店街通りを通行止にしても自動車交通への影響やトラブルは生じませんでした。

2. 商店街規制区間周辺の通行車両（自動車）の状況

前回の課題を踏まえ、前回から実施方法を変更した箇所周辺について、路上駐車やUターンなど普段と異なる交通状況の発生について確認しました。

ア周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	57台	8台
休日(7-19時)	40台	9台

イ周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	70台	24台
休日(7-19時)	58台	10台

ウ周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	605台	5台
休日(7-19時)	454台	1台

- ・ア～ウ周辺を通行していた車両の一部で普段と異なる交通状況（路上駐車、Uターン、一方通行逆走、迷っている車）などの状況がみられましたが、大きなトラブルは生じませんでした。

3. 商店街通りの歩行者の状況

プロジェクト実施前と実施中の商店街通りの通行状況を調査・比較しました。

実施日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
平日(10-20時)	2,632人	3,096人	+464人

- ・平日の歩行者通行量は1日で464人の増加がみられ、普段よりも賑わっていました。

2) アンケート調査

プロジェクトに関するアンケート調査を江戸川台東口商店街への来訪者、イベント来訪者、沿道商業者を対象に実施しました。

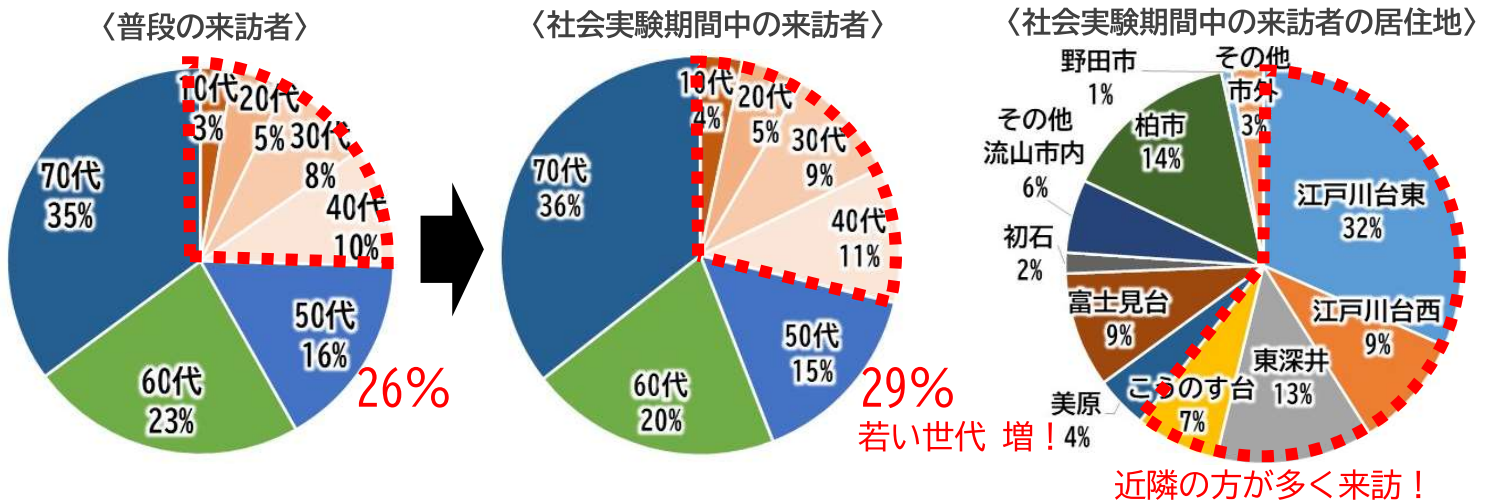
1. 来訪者アンケート

配布数：封筒300通 ※1封筒につき調査票3票配布。1人1票回答。

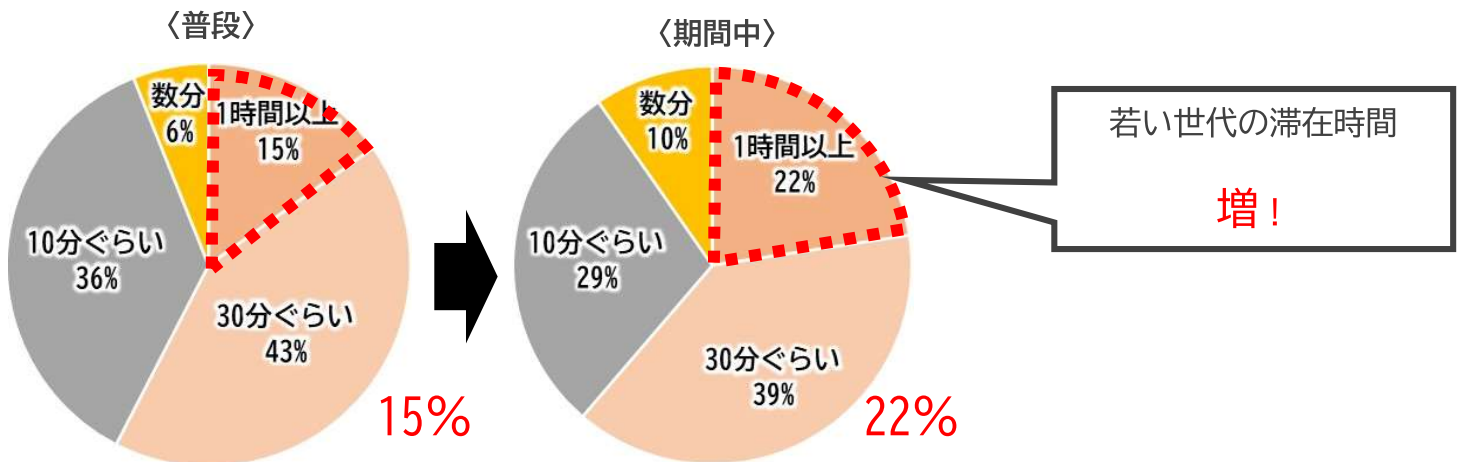
回収数：調査票118票（WEB回答含む）

実施日：11/20（日）、11/22（火）、11/25（金）

調査方法：商店街来訪者へ直接配布、郵送回収

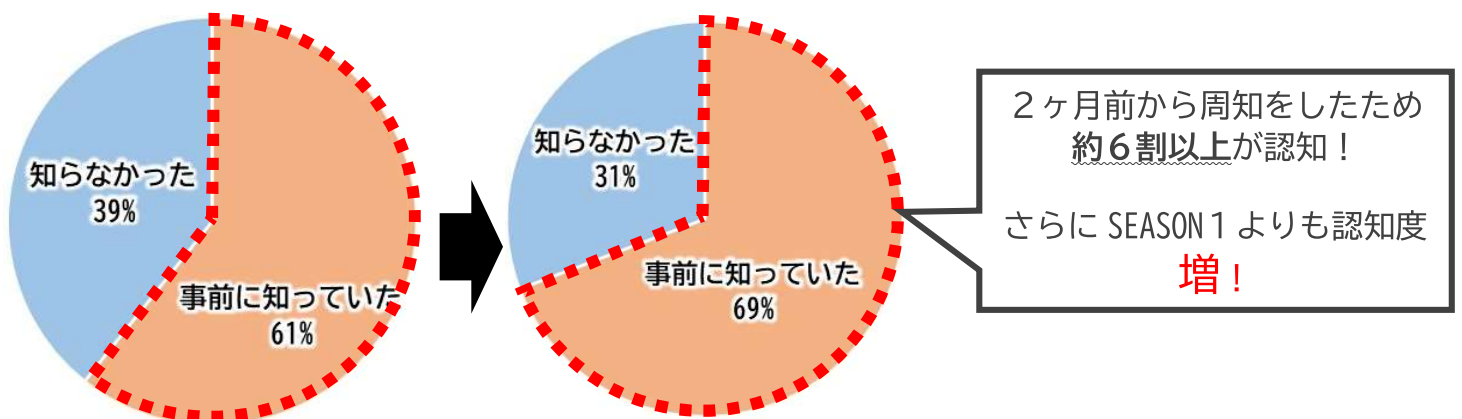


〈10～40代の滞在時間〉

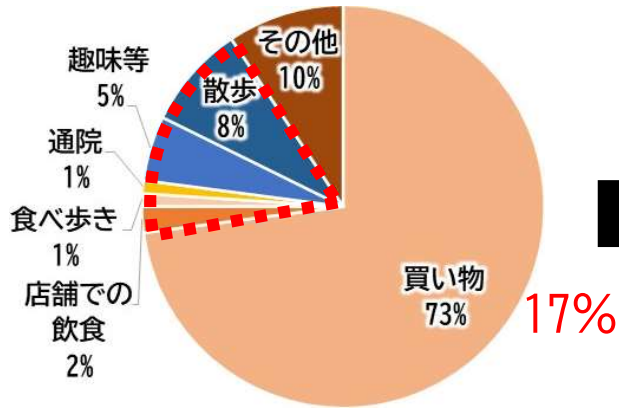


〈SEASON 1 の認知度〉

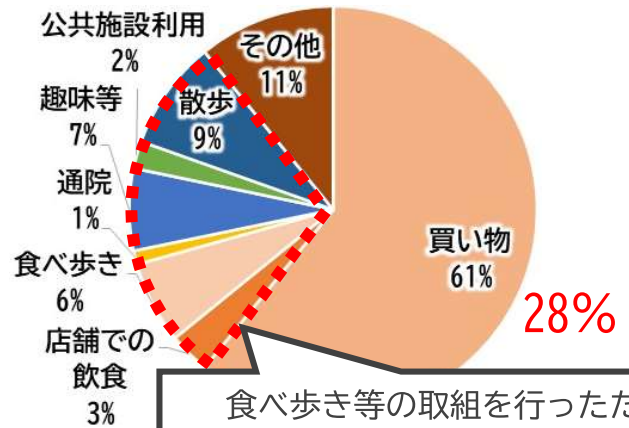
〈SEASON 2 の認知度〉



〈普段商店街に来る目的〉

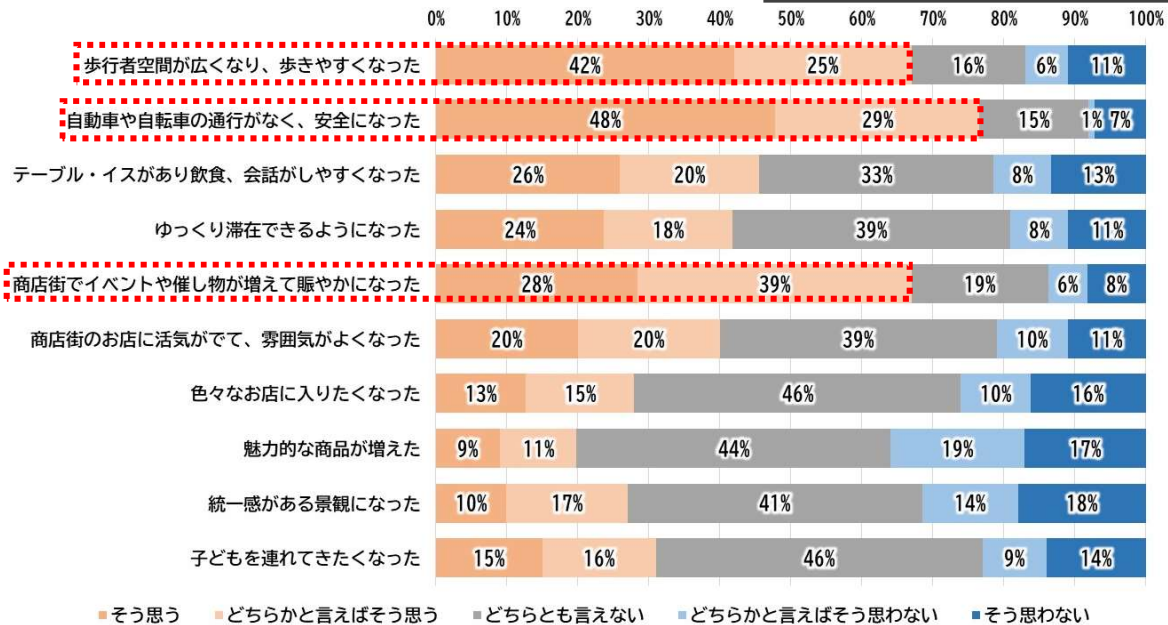


〈社会実験期間中商店街に来た目的〉



食べ歩き等の取組を行ったため
様々な目的での来訪が**増**！
特に食べ歩きをしている人**増**！

〈プロジェクトによる行動及び印象の変化〉



「自動車や自転車の通行がなく、安全になった」「歩行者空間が広くなり、歩きやすくなった」「商店街でイベントや催し物が増えて賑やかになった」という意見が多くなっています。

〈その他自由意見〉

肯定的な意見	回答数
イベントが良かった	12件
車両通行止が良かった	3件

否定的な意見	主な理由	回答数
既存店舗に不満		5件
自転車利用者が車両通行止に不満	駅までの通行が不便	1件
	商店街でのアクセスが悪い	2件
自動車利用者が車両通行止に不満	駅までの送迎が不便	2件
イベントに不満		2件
社会実験の趣旨に不満		2件
飲食スペースに不満		1件

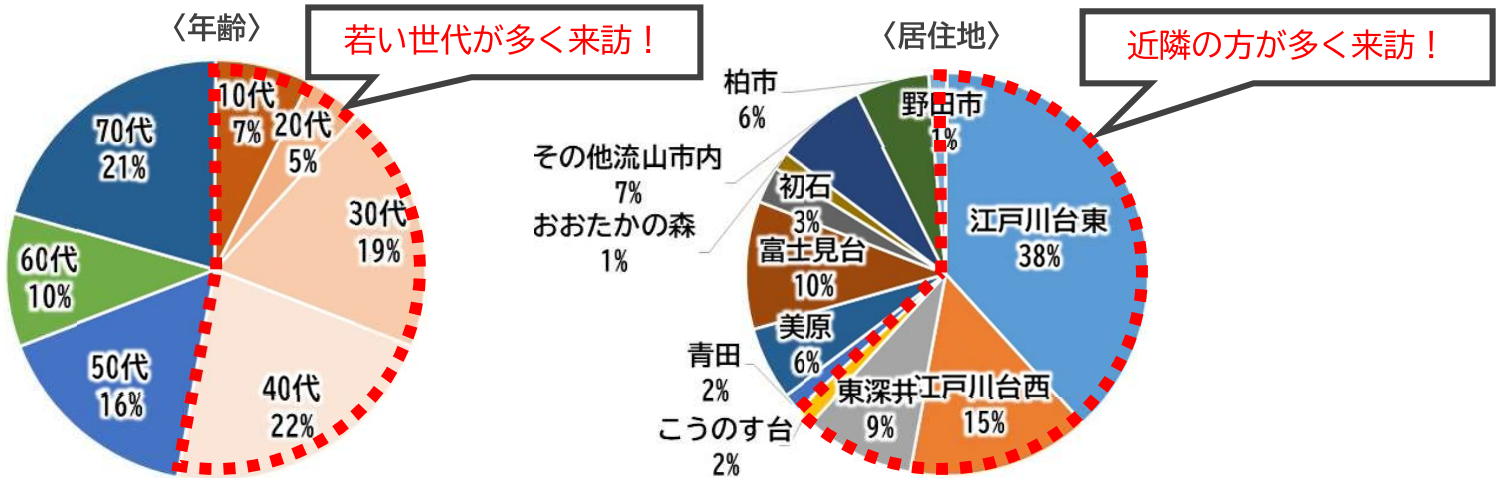
2. イベント来訪者アンケート

配布数：封筒250通 ※1封筒につき調査票2票配布。1人1票回答。

回収数：調査票69票(WEB回答含む)

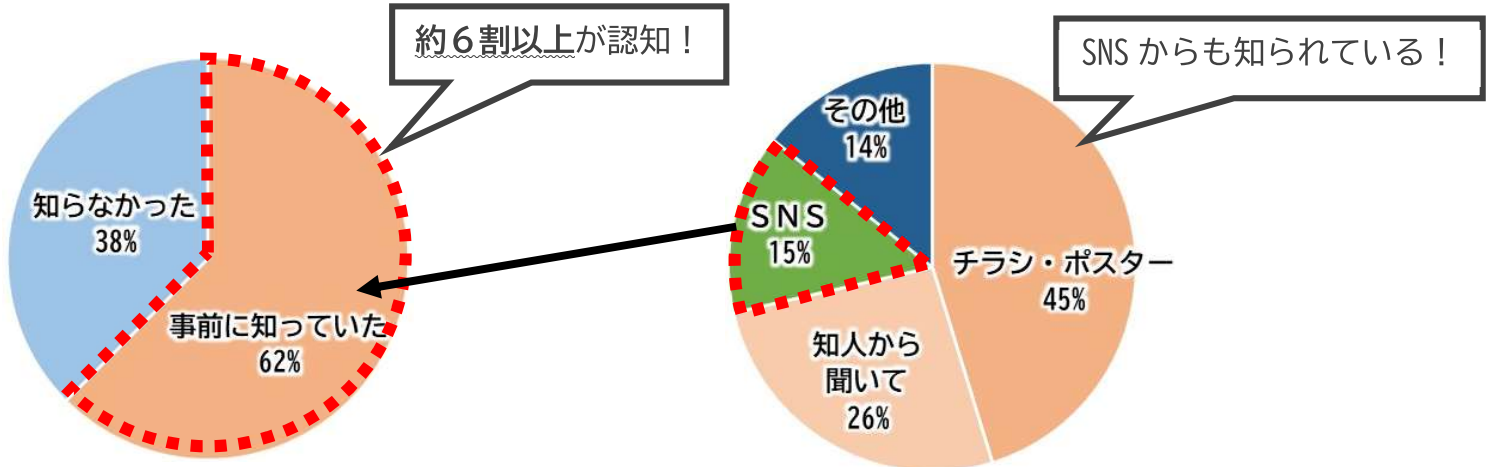
実施日：11/20(日)、11/25(金)

調査方法：商店街来訪者へ直接配布、郵送回収

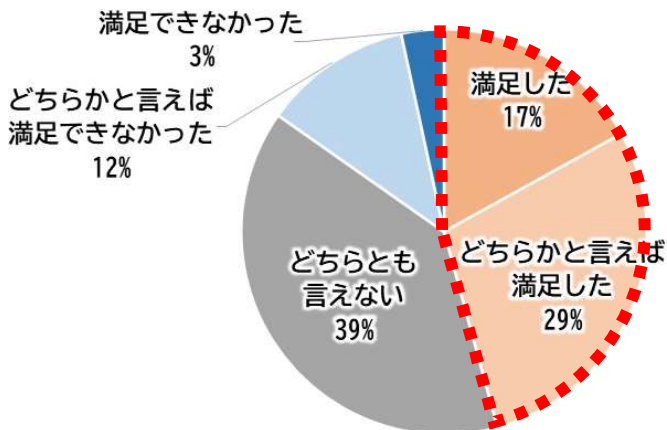


〈イベントの認知度〉

〈イベントについて何で知ったか〉



〈イベントの満足度〉



満足した	回答数
催し物を楽しめた	2件
江戸川台地区ではあまりない珍しさがあったから	2件
賑わいを感じられた	1件
満足しなかった	回答数
催し物が不満であったから	1件
出店が少なかったから	1件

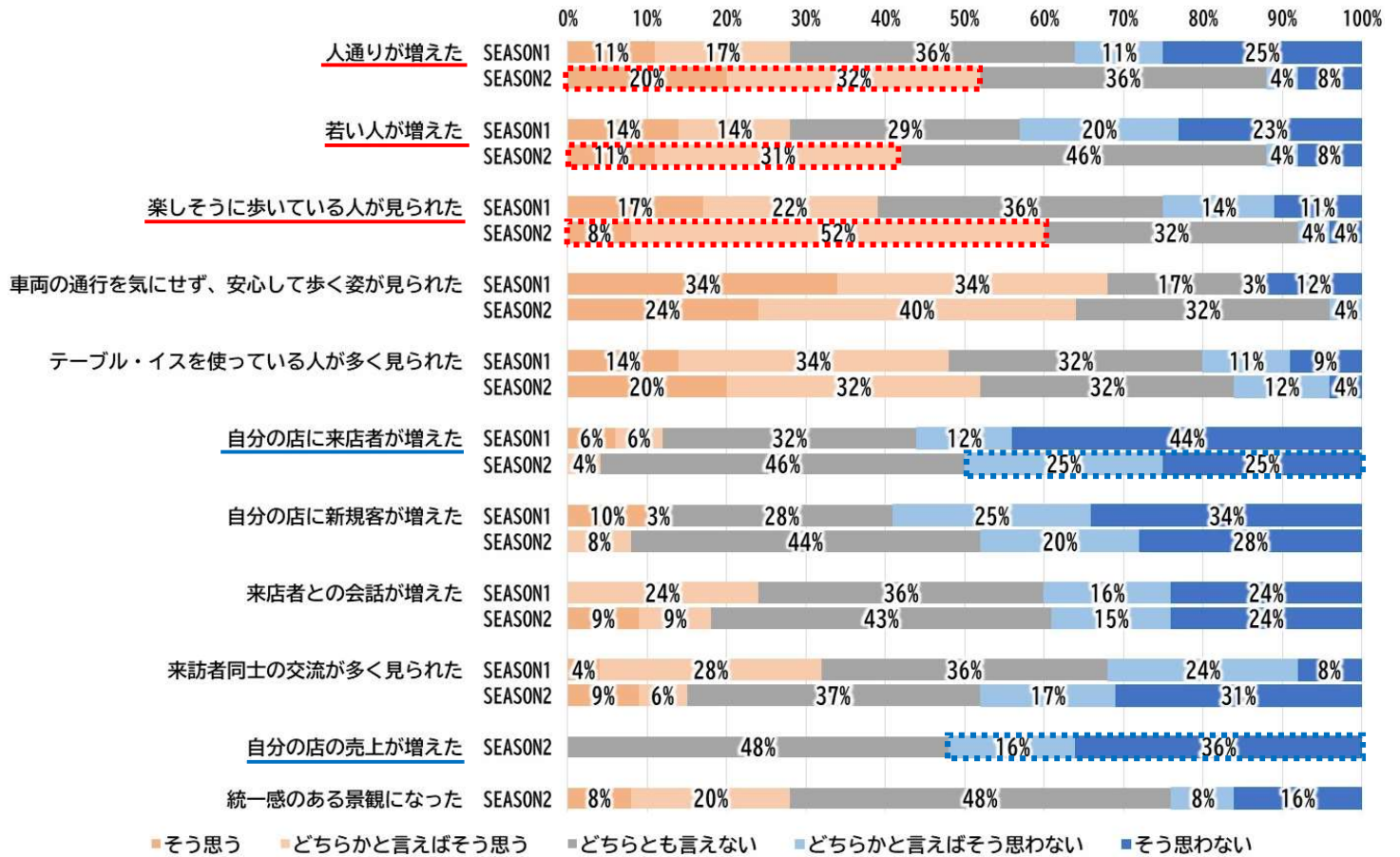
3. 店舗営業者アンケート

配布数：封筒83通

回収数：調査票28票

調査方法：店舗営業者へ直接配布、郵送回収

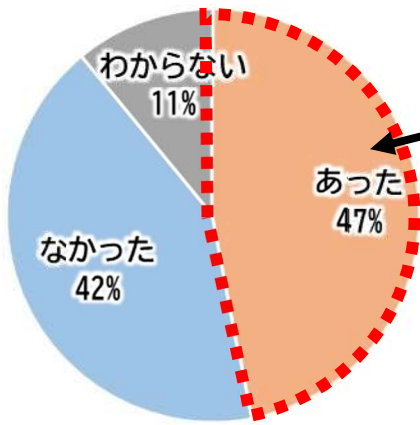
〈プロジェクトについて〉



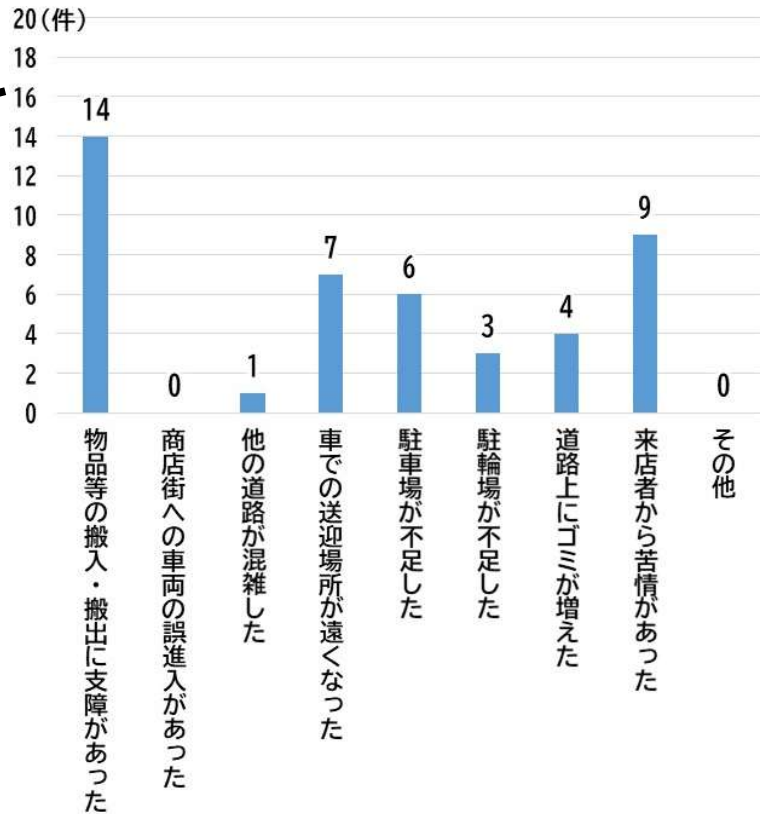
- SEASON 1、SEASON 2ともに「来訪者が車両の通行を気にせず、安心して歩く姿が見られた」という意見が多くなっています。
- SEASON 2では「人通りが増えた」「楽しそうに歩いている人が見られた」「若い人が増えた」という意見がSEASON 1よりも多くなっています。
- SEASON 2では沿道店舗の売上につながるような取組を行いました。が、「自分の店の売上が増えた」「自分の店に来店者が増えた」という意見が少なくなっており、効果があまり感じられなかったと感じています。

〈社会実験期間中困ったことがあったか〉

〈SEASON 1〉

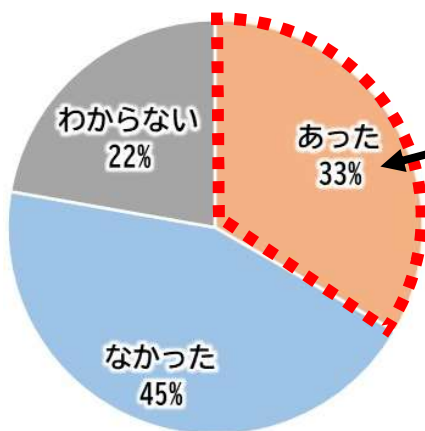


〈どんなことに困ったか〉

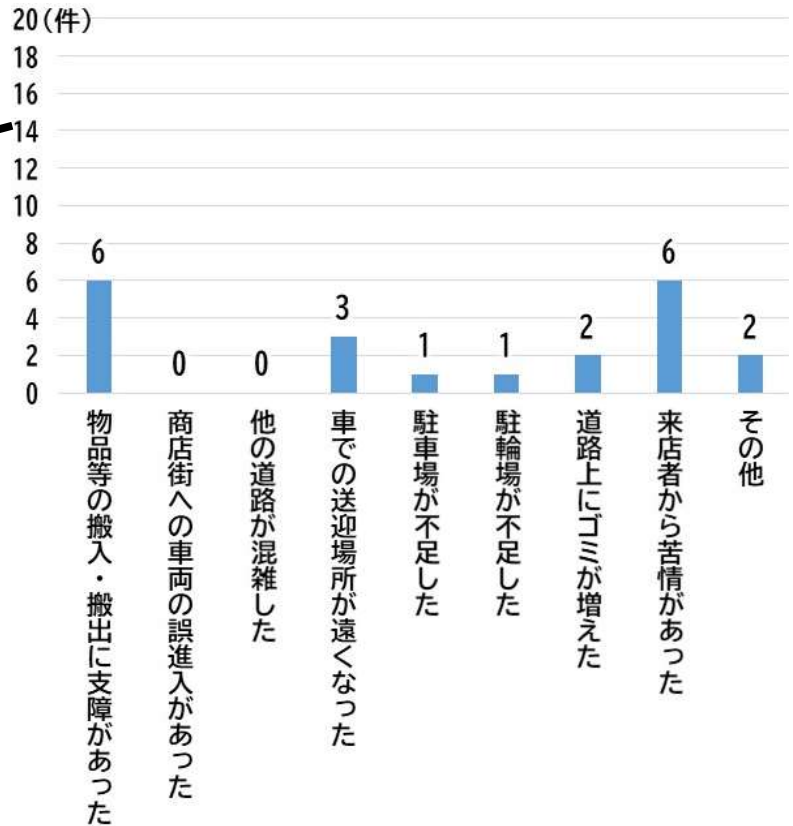


〈社会実験期間中困ったことがあったか〉

〈SEASON 2〉



〈どんなことに困ったか〉



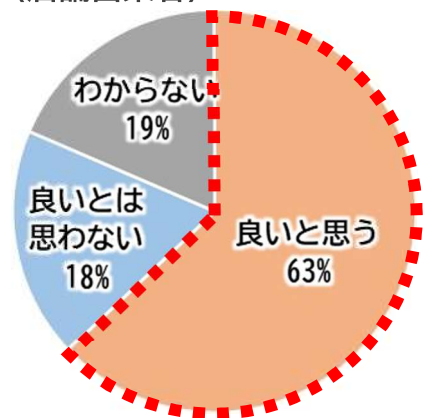
SEASON 1 と SEASON 2 を比較すると社会実験で困ったことがあったと回答された方が減少しました。

SEASON 2 では、約3割以上の方が困ったことがあったと回答されました。

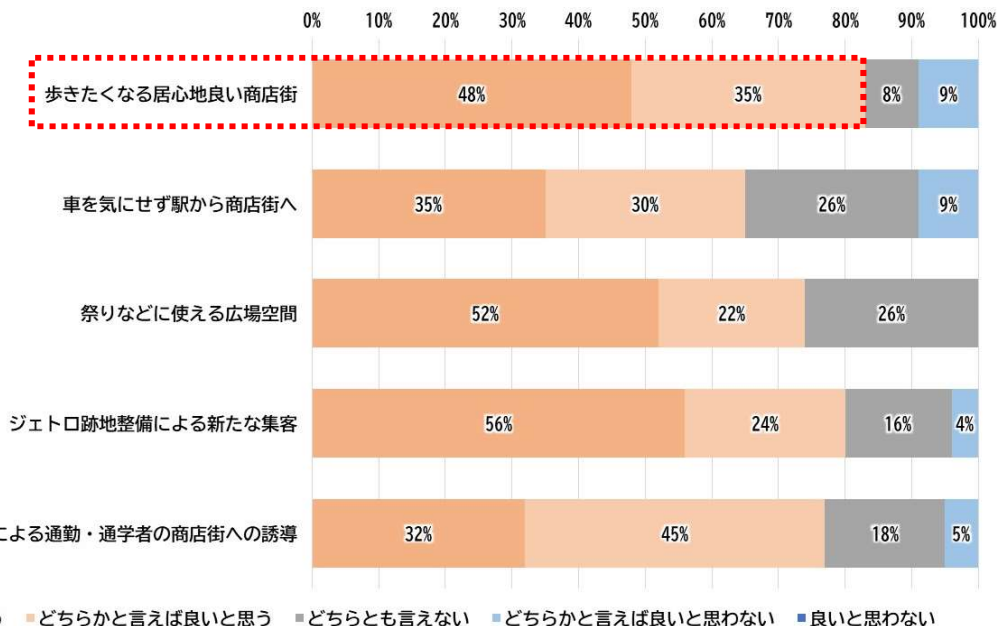
その具体的な内容は、「物品等の搬入・搬出に支障があった」「来店者から苦情があった」が最も多くなっていますが、SEASON 1 と比較すると半数近く減少しています。

〈再整備イメージについて〉

〈店舗営業者〉



〈各整備方針について〉



店舗営業者の方は、再整備エリアビジョンについて、全ての項目で約6割以上の方が「良いと思う」と回答されました。

その中でも、「歩きたくなる居心地良い商店街」が良いと思う方が多くなっています。

4. 建物所有者アンケート

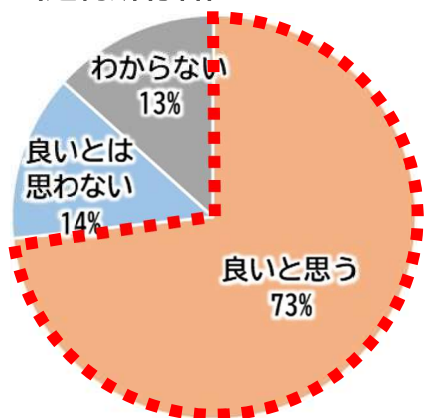
配布数：封筒42通

回収数：調査票15票

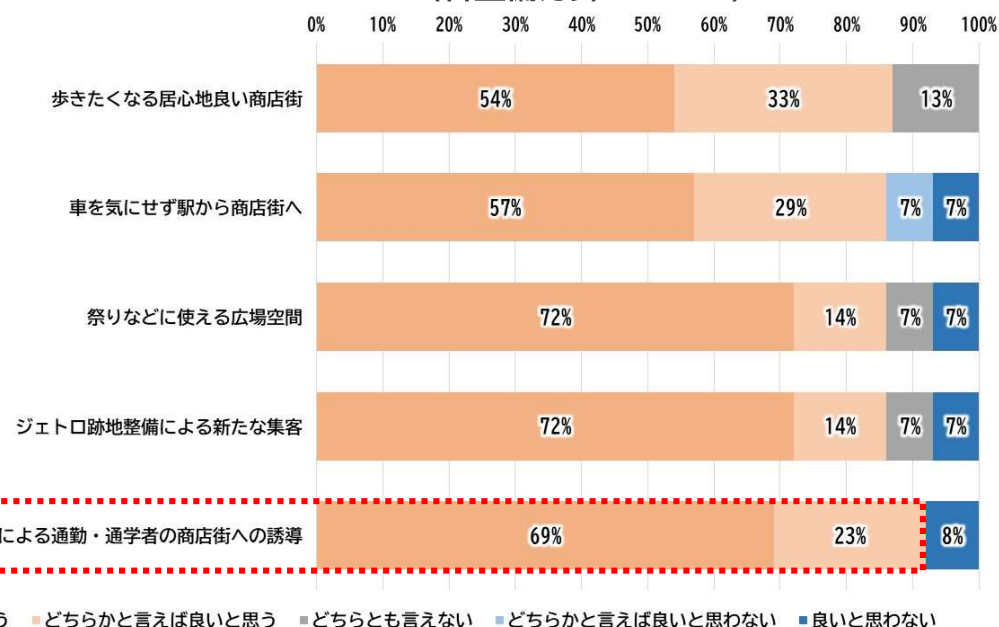
調査方法：建物所有者へ直接配布、郵送回収

〈再整備イメージについて〉

〈建物所有者〉



〈各整備方針について〉



建物所有者の方は、再整備エリアビジョンについて、全ての項目で約8割以上の方が「良いと思う」と回答されました。

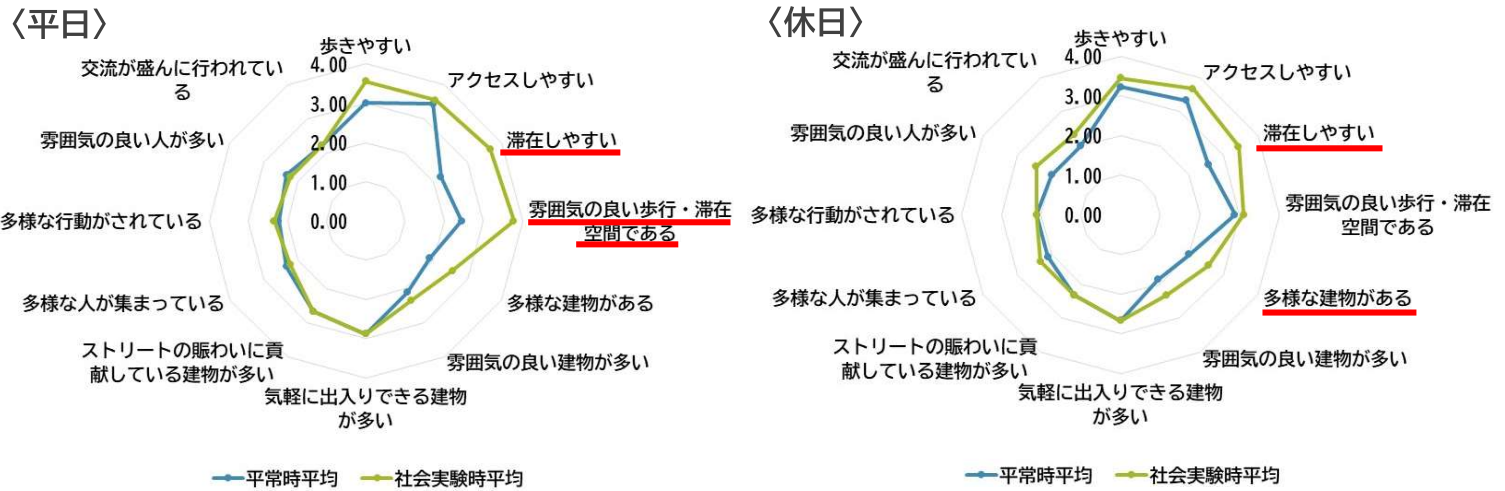
その中でも、「送迎バス待機所設置による通勤・通学者の商店街への誘導」が良いと思う方が多くなっています。

3) 居心地調査

国土交通省の「まちなかの居心地の良さを測る指標(案)」に基づき、居心地調査を実施しました。居心地調査とは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを形成するため、まちなかの状況を歩きながら把握し、来訪者の行動や感情を測る調査です。

通行者や滞在者の行動や快適性などを調査した総合評価は下記のグラフのようになっています。

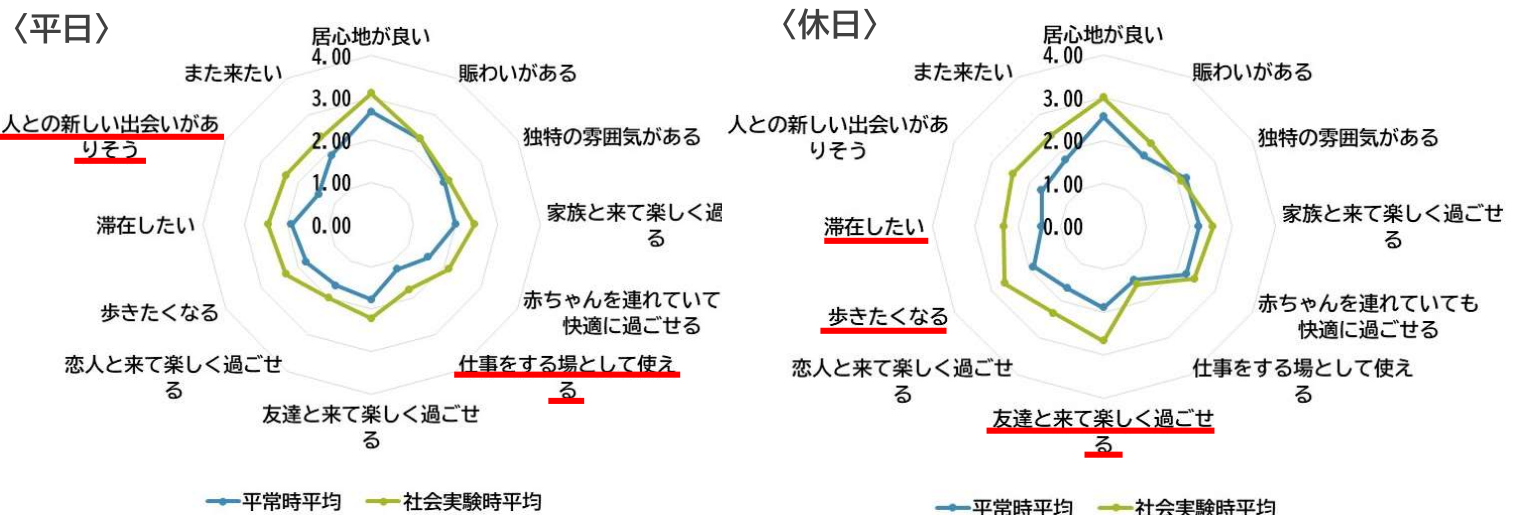
1. 商店街通りと沿道の環境に関する評価



プロジェクト実施により、平常時に比べて「滞在しやすい」「雰囲気の良い歩行・滞在空間である」が高い評価となりました。

平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。特に「滞在しやすい」「多様な建物がある」の評価が高くなりました。

2. 商店街通りと沿道の魅力に関する評価



プロジェクト実施により、平常時に比べて「人との新しい出会いがありそう」「仕事をする場として使える」が高い評価となりました。

平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。特に「滞在したい」「歩きたくなる」「友達と来て楽しく過ごせる」の評価が高くなりました。